

# 第5回TRIZシンポジウム参加者属性分析

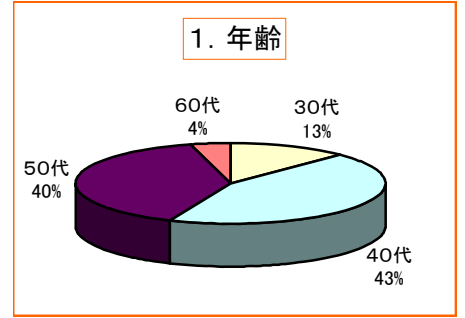
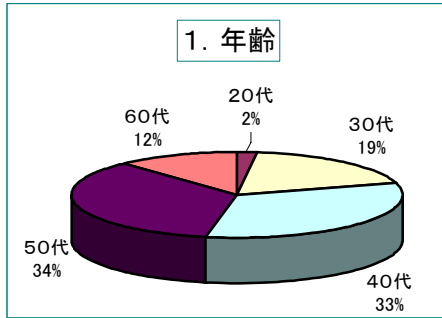
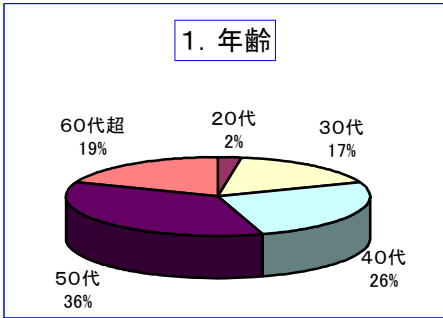
**【第5回】**  
137名  
国立女性教育会館

**【第4回】**  
182名  
ラフォーレ琵琶湖

**【第3回】**  
204名  
東芝研修センター

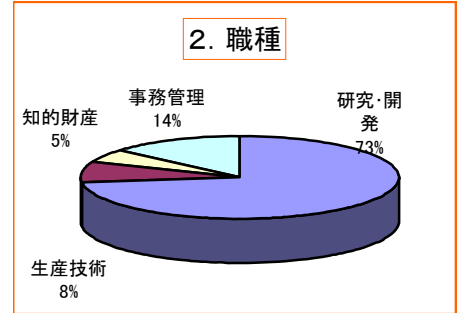
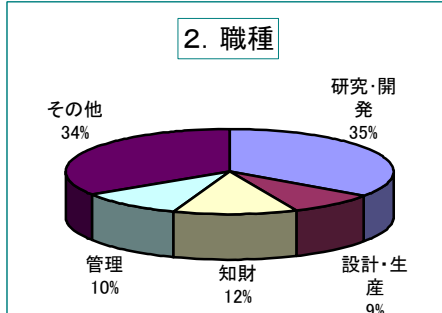
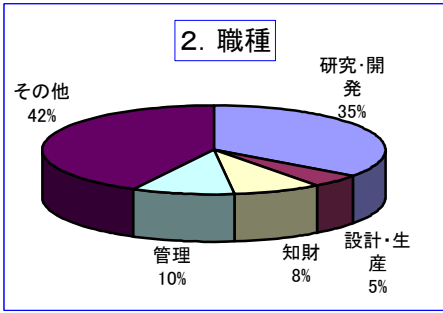
リーマンショックに端を発する経済不況下において、主催者側の予想を上回る137名の参加者を得られました。海外参加者も19名(7カ国)にのぼり当シンポジウムが国際的に着目されていることを証明しています。

## 1. 年齢



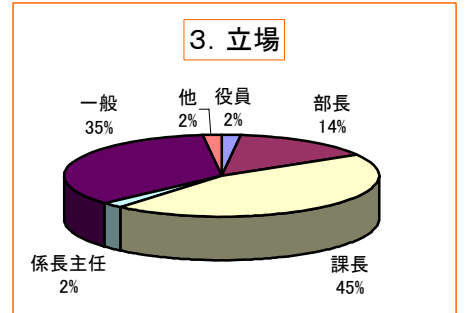
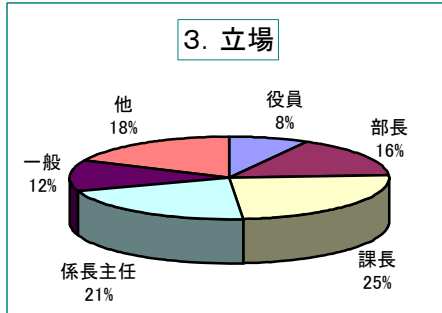
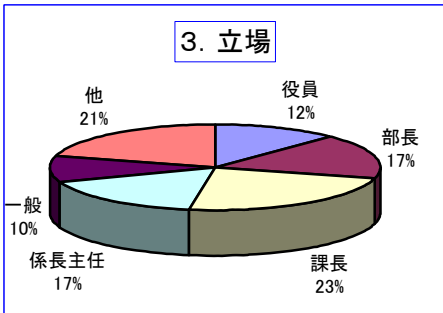
年齢分布においては、60歳代の比率が増えています。これは、定年退職をされても引き続き「TRIZ」に関心を示されている方々が増えていることと推測されます。若手も僅かながら参加されてるようになりました。

## 2. 職種



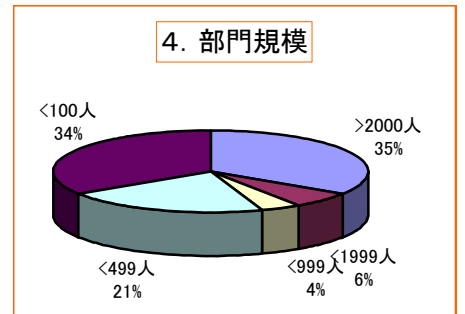
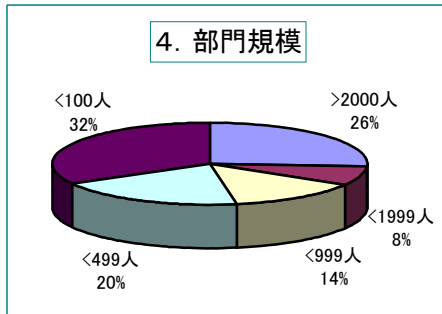
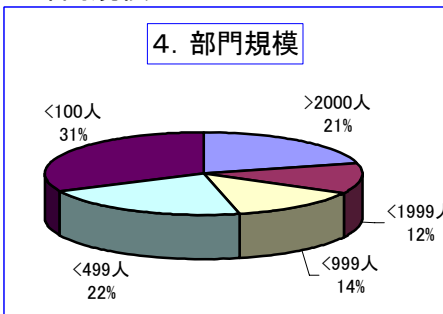
参加者の職種に変化があるのは、企業からの参加者が減り、大学・コンサルティング関係者が増加しています。不況下で企業の参加に抑制がかかったと捉えられます。一方幅広い分野からの参加と捉えることもできます。

## 3. 立場



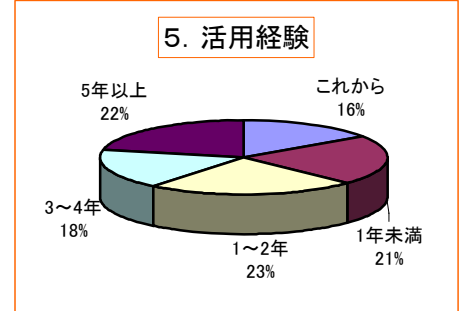
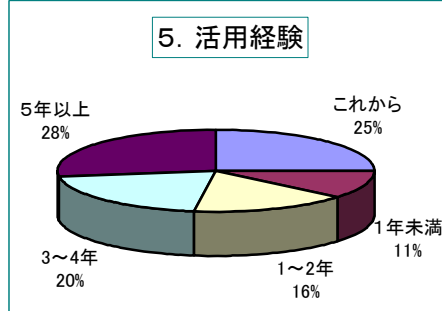
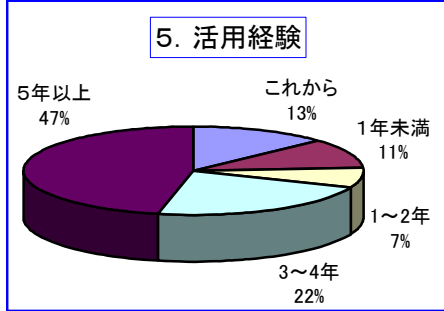
年齢分布に対応しています。幅広い層からの参加に移行しているのがわかります。その他が増えているのは、職種と同様で「大学」「コンサルティング」関係者が増加していることを表しています。

## 4. 部門規模



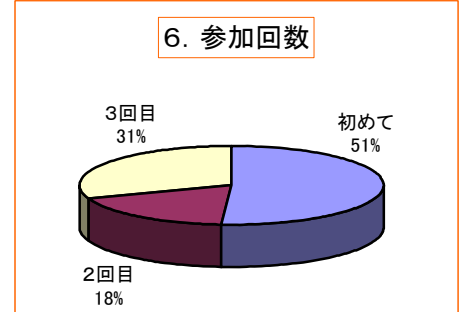
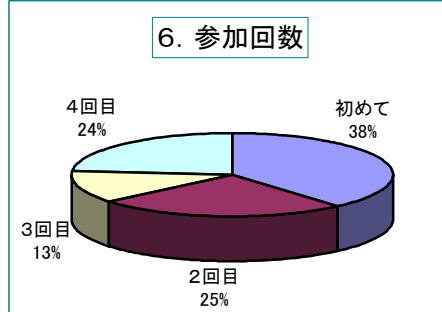
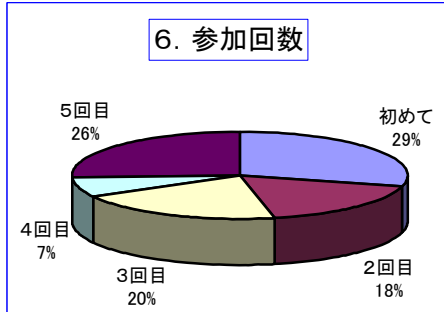
参加者の部門規模の比率においては、この数年変化がありません。

## 5. 活用経験



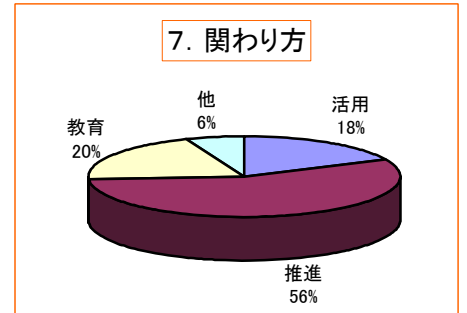
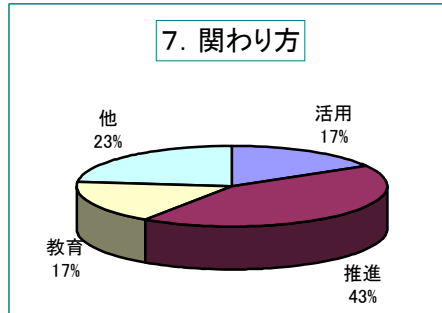
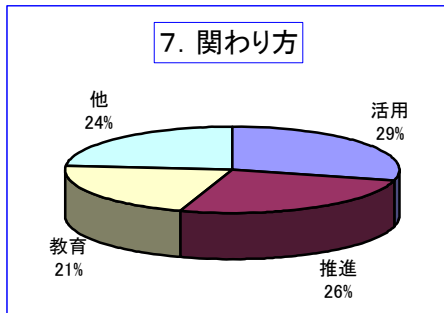
今回の特徴として、ベテランの比率が高いことが上げられます。  
また、毎年経験年数が上がっているのは、着実にTRIZが浸透していることを物語っています。

## 6. 参加回数



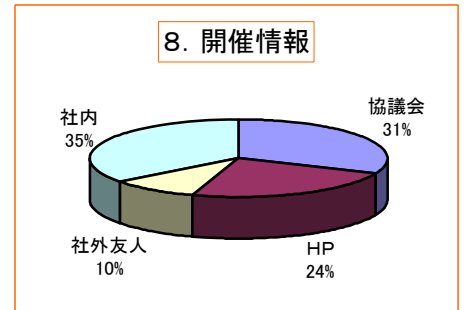
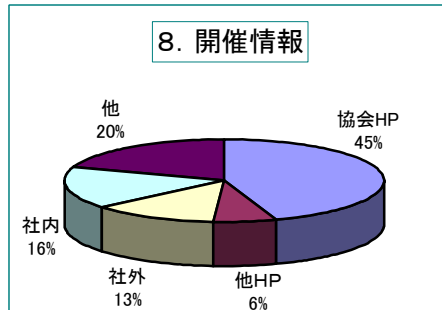
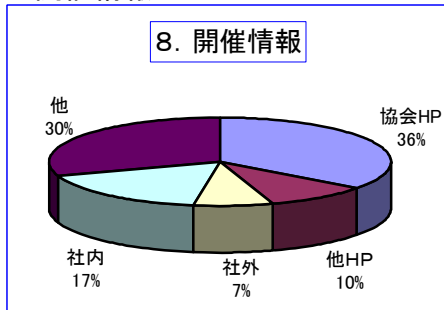
グラフから、一度参加されると毎年参加されているのがわかります。  
初めての方が減少しているのは、経済情勢を反映していると思われます（同一企業からの複数名参加者の減少）

## 7. 関わり方



あらゆる層の方々が均等に参加されていることがわかります。傾向的には推進者の方々の参加が減少しています。

## 8. 開催情報



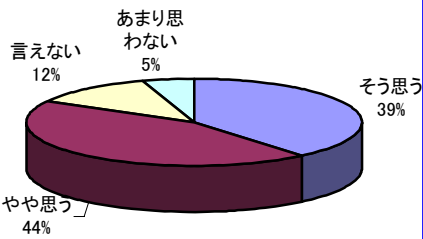
その他が増えていますのは、協会から会員の皆様にダイレクトにご案内をしているものが含まれています。  
多様な、情報源からシンポジウム開催を確認されていることがわかります。

## 第5回TRIZシンポジウム参加者アンケート

今年度より質問方式を変更致しましたので、対応する過去のデータはありません。

### 1. 満足度

1-1.満足度



総合的に高い(83%)満足度をいただきました。

#### [満足]

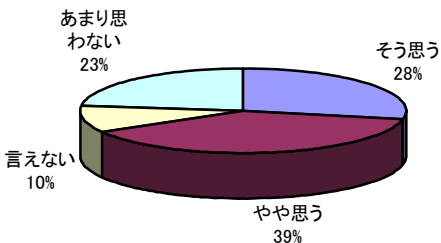
- 1) 海外や先進企業の事例を聞くことができた点で満足と評価する方が多い。
- 2) 情報交流会で、企業の実情把握ができたり、ネットワークが広がった点。
- 3) 初心者向けのチュートリアルや経験者からの親切なアドバイス。

#### [不満]

- 1) 海外の著名人との交流する機会をもっと企画して欲しいとの要望。
- 2) 会場に関して(投影のゴースト・資料の置き場・空調など)の改善要望。

### 2. プログラム

2-1.プログラム



概ね好評でしたが、ポスター発表については要望が多くありました。

#### [満足]

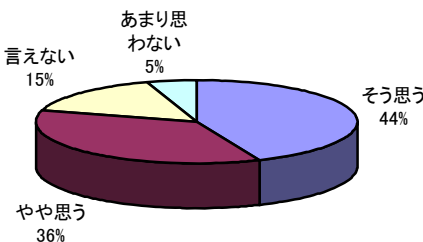
- 1) 困難な経済状況にも係わらず、海外も含め様々な分野の発表を聞いた。
- 2) 十分な発表時間と質疑応答の時間が確保されていた点を評価する。
- 3) 世界的にも高名な方々の講演や発表が聞いた点。

#### [不満]

- 1) ポスターセッションはプレゼン回数が少なく全てを聞くことができなかった。
- 2) メーカーの事例を増やして欲しい。

### 3. 運営

3-1.運営



概ね好評であったが、次回の会場開催場所は多様な要望がありました。

#### [満足]

- 1) 費用・環境面で、今回の会場に満足する声が半数を占めた。
- 2) 英訳や通訳でのご苦労をありがたいと思う。
- 3) 運営委員のボランティア活動を労う声多し。

#### [不満]

- 1) プロシーディングが見づらい(印刷の黒ベタ・ページ番号がない等)
- 2) 経済状況下、開催期間の検討(3→2日)を要望する声もある。

### 4. 協会への要望

- ・種々学協会への貢献・連携ができるとTRIZが普及すると期待します。
- ・協会ウェブサイトへ、略号や専門用語の解説やリンク集のページを追加して頂けるとありがたい。
- ・シンポジウムだけでなく、協会が、日頃の情報交換や活動共有の場になっていければよいですね。
- ・シンポジウム以外の活動が乏しい。他の学会だったら、会報とかですか。
- ・学会への昇格を目指して欲しいと思います。
- ・今のところ、特に不満はありません。今後、さらに協会が発展し、地方支部ができればよいですね。
- ・シンポジウム等で記録(ビデオ)を残す必要があれば、お声掛け頂ければ協力は惜しみません。
- ・TRIZ協会の会員特典を、シンポジウム参加費の割引以外にご検討願いたい。  
メールマガジンの充実(単なる情報発信や連絡だけでなく)、TRIZに関する単行本の割引購入など。
- ・自分自身が初めての参加で大きなことは言えないが、仲間を増やす工夫が必要と思われる。

たくさんの皆様からの真摯なご意見を賜りありがとうございました。

今後も、ご意見を反映できますよう検討して参ります。

尚、次回開催会場に関してたくさんの情報提供ありがとうございました。現在候補地を検討中です。